

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2005-116100 (P2005-116100A)

【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-351032 (P2003-351032)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/06 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/034 (2006.01)

G 1 1 B 27/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00 D

G 0 6 F 3/06 3 0 1 J

G 0 6 F 3/06 3 0 1 Z

G 1 1 B 20/10 D

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

G 1 1 B 27/034

G 1 1 B 27/10 A

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 10 日 (2006.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、

前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した 1 つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、

前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする記録再生システム。

【請求項 2】

自装置を含む複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムにおける記録再生装置であって、

前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した 1 つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、

前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする記録再生装置。

【請求項 3】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、

前記複数の記録再生装置のうち１つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定手段と、

前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した１つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、

前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段と

を有することを特徴とする記録再生システム。

【請求項４】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、

前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納手段と、

前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した１つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、

前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段と

を有することを特徴とする記録再生システム。

【請求項５】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法であって、

前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した１つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと

を有することを特徴とする記録再生方法。

【請求項６】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法であって、

前記複数の記録再生装置のうち１つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した１つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと

を有することを特徴とする記録再生方法。

【請求項７】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法であって、

前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した１つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと
を有することを特徴とする記録再生方法。

【請求項 8】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記記録再生方法が、

前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した 1 つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと
を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 9】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記記録再生方法が、

前記複数の記録再生装置のうち 1 つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した 1 つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと
を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記記録再生方法が、

前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した 1 つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、

前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップと
を有することを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録再生システム、記録再生装置、記録再生方法およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システム、該記録再生システムに適用される記録再生方法、該記録再生方法をコンピュータに実行させるためのプログラム等に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明はこのような問題点に鑑みてなされたものであって、ハードディスクを使用した記録再生装置を複数備えたシステムにおいて、単純な操作で複数の記録再生装置に亘って連続してビデオデータを自動的に記録でき、しかも同期をとって連続して再生することができる記録再生システム、記録再生装置、記録再生方法およびプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明に係る記録再生システムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明に係る記録再生装置は、自装置を含む複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムにおける記録再生装置であって、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明に係る記録再生システムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、前記複数の記録再生装置のうち1つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定手段と、前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ

、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明に係る記録再生システムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムであって、前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納手段と、前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理手段と、前記制御モードが設定された記録再生装置に設けられ、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明に係る記録再生方法の1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法であって、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明に係る記録再生方法の1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法であって、前記複数の記録再生装置のうち1つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明に係る記録再生方法の1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再

生システムに適用される記録再生方法であって、前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明に係るプログラムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記記録再生方法が、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

本発明に係るプログラムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記記録再生方法が、前記複数の記録再生装置のうち1つに制御モードを設定し、残りの記録再生装置に、前記制御モードが設定された記録再生装置によって制御される被制御モードを設定するモード設定ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

本発明に係るプログラムの1つは、複数の記録再生装置と制御装置とを有する記録再生システムに適用される記録再生方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記記録再生方法が、前記複数の記録再生装置のうち制御モードが設定された記録再生装置が、前記複数の記録再生装置の各々における少なくとも記憶領域に関する所定情報をそれぞれ収集し、該各所定情報を記憶装置に格納する収集格納ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記記憶装置に格納された各所定情報に基づき、前記複数の記録再生装置がそれぞれ備える記憶領域を、連続した1つの仮想記憶領域として管理する領域管理ステップと、前記制御モードが設定された記録再生装置が、前記制御装置が送信したコマンドを受信し、該コマンドの内容に応じて、前記仮想記憶領域において記録または再生を行う記録再生ステップとを有することを特徴とする。

さらに、本発明では、上記記録再生方法をプログラムとして記憶した、コンピュータにより読み出し可能な記憶媒体も提供可能となる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項1、2、5及び8に係る発明によれば、記録再生装置を複数備えたシステムにおいて、単純な操作で複数の記録再生装置に亘って連続してビデオデータ等を自動的に記録

でき、しかも同期をとって連続して再生することができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

また、請求項 3、6 及び 9 に係る発明によれば、複数の記録再生装置に対して自動的に制御モード及び被制御モードの設定を行うことができ、制御モードに設定された記録再生装置が取り除かれたことがあっても、記録再生装置が動作しなくなることを回避することができる。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

また、請求項 4、7 及び 1 0 に係る発明によれば、被制御モードの記録再生装置が追加されたり、取り除かれたりしたときでも、制御モードが設定された記録再生装置によって記録再生システムの再構築を行うことができる。

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】